

浸種は3月30日、播種は4月10日以降に！

今年も高品質で美味しい山田米生産のため、コシヒカリの田植えは5月6日頃から行いましょう。
また、田植えにむけて、浸種は3月30日頃、播種は4月10日頃から行いましょう。

◎育苗計画の目安

浸種開始日	播種	田植予定日
3月30日～4月8日	4月10～18日	5月6～12日

若い苗は、分けつの発生が良い。
初期生育を良くし、穂数を確保！



◎事前作業

- ・ 苗箱の消毒はイチバンで！（苗箱はしっかりと乾かしてから使用）
- ・ **育苗器のサーモスタットは、使用前に必ず点検しましょう。**
- ・ 育苗ハウスの準備（ハウス内の均平化、温度計設置等）

<育苗の手順>

①種子消毒

◎種子は全品種消毒済なので、種子消毒は不要です。
浸種からスタートしてください。

②浸種

◎浸種初日は、消毒効果及び出芽揃いを高めるために、12℃程度の温度を確保する！

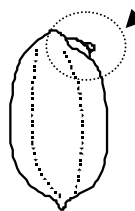
【ポイント】

- ・ 水温の目安は **10～15℃** で揃いがよくなります。
- ・ 浸種期間は、
水温×日数＝**積算温度 100℃確保**が目安です。
→（例 水温10℃×10日）
※水温が低い場合は、日数を長めにしてください。
- ・ 浸種袋に入れる種籾量は、袋の1/2程度。
- ・ 最初の2日間は水を入れ替えない。
- ・ その後、水の交換は1～2日毎とし、浸種袋の積み替えを徹底する。
- ・ 種籾が十分に浸かる程度の水量を確保する。
→（籾：水＝1：2）

③催芽

◎育苗器内の温度が**30℃以上にならないように注意！！**
目安：ハト胸～2mmまで

- ・ 温度は28～30℃で24時間が目安。
- ・ 1日2～3回袋を反転させる等により、発芽を揃える。



④播種

◎薄播きがガッチリ苗の基本です。

【ポイント】

- ・ 播種量は催芽籾で箱当たり150g（乾籾120g）
→裏面参照
- ・ 播種時にカビ予防として、かん水を兼ね、ダコレート水和剤500倍液を500cc/箱かん注する。

⑤出芽

◎出芽温度は**28～30℃**を厳守
(30℃以上にならないよう注意する)

【ポイント】

- ・ 2.5～3日間で芽の長さ1cmを目安とする。

⑥搬出

【ポイント】

- ・ 芽の長さ1cmで搬出する。
- ・ 搬出は原則として早朝に行う。
- ・ 搬出時には、覆土を落ち着かせるため、軽くかん水する。
- ・ 搬出後、カルシヤ、またはフソートをかける。

⑦緑化(3～4日間)

◎ハウス内の温度の目安→**昼 25℃以下、夜 10℃以上**

【ポイント】

- ・ 緑化中でも温度が高い場合は、こまめに換気を行う。
- ・ 表面の土が乾燥している場合はかん水する。
- ・ 第1葉が展開したら速やかに被覆資材をはずす。

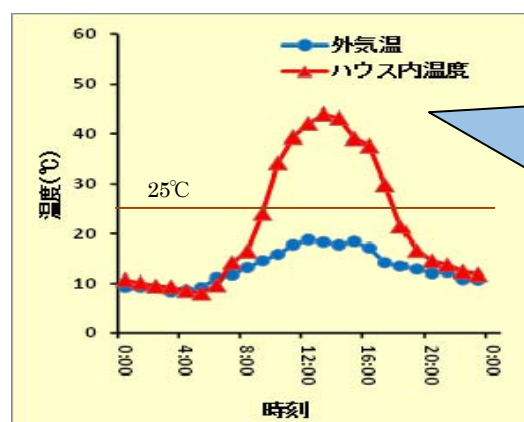
⑧硬化(18～20日間)

◎ハウス内の温度の目安→**昼 25℃以下、夜 10℃以上**

【ポイント】

- ・ 高温にならないよう換気を徹底する。
- ・ かん水は、原則として早朝1回とする。
(水のやりすぎに注意！)
- ・ 育苗時の防除対策

症状	薬剤名	使用方法	注意事項
ムレ苗	タチガレ エースM液剤	500倍液 かん注	かん注量は1箱当たり 500ml



晴天日にハウスを閉めっぱなしにすると、外気温が低くてもハウス内温度は**40℃**を超えます。
「晴れ」が予想される日は、朝から換気しましょう。

春の農作業安全運動 展開中「一人一人の安全意識と周囲からの「声かけ」から始まる農作業の事故防止」

★育苗前にワンポイント★

◎播種量を確認しましょう！
 まずは試し播きを！
 播種量は催芽粃で箱当たり
 150g（乾粃 120g）です。



【不足】
125g / 箱(乾粃 100g)



【適正】
150g / 箱(乾粃 120g)



【過剰】
175g / 箱(乾粃 140g)

【水稻育苗ハウスで野菜等の栽培を行われる方へ】

- 水稻育苗ハウスで野菜等の栽培を行う場合、苗箱施薬剤は、育苗ハウスから搬出した後に施用してください。
- 播種同時施薬を施用した苗箱を並べていたハウスでは、野菜を栽培しないでください。

<春の土づくり>

- ・未熟粒の発生を防ぐには、登熟後半まで稲体の活力を維持することが重要です。
- ・春の土づくりをしっかり行い、健全な稲を育てる土台を整えましょう。

秋施用できなかった方は必ず春施用
 しましょう！！



① ケイ酸の施用で稲体の活力アップ!!

ケイ酸質資材を施用することで、気象変動に強い稲体を作ることができます。
 また、アルカリ成分を含むケイ酸質資材は、pHを上げる効果もあり、継続的な施用で
 カドミウムの吸収抑制効果も期待できます。

【土壌改良資材の施用量の目安】(10a 当たり)

土壌改良資材の種類	施用量
シリカロマン	100kg
米取りけいさん鉄	100kg

☆☆ケイ酸の効果☆☆

1. 稲の姿勢が良くなり登熟や品質が向上します。
2. 割粃が減りカメムシ被害が軽減します。
3. いもち病に対して抵抗力が増します。
4. 倒伏しにくくなります。

② 作土深 15cm を確保し根を深く張らせる!!

作土が深くなると、根が伸びる範囲が広がり、より多くの養水分の吸収が可能となります。作土深 15cm を確保するため、トラクターの速度を落とし、ロータリーの回転数を遅くして、現状+3cm の深耕を心掛けましょう。

◎GAP の取り組みで農作業事故を無くそう!

農作業事故防止チェックシートを使ってこれからの農作業で予想される危険とその回避方法を、家族や営農組合等で事前に話し合ひましょう!

【確認事項】

危険箇所、作業計画、安全操作、オペレータの体調、緊急連絡先等



農作業事故防止チェックシート

作業を始める前に**チェック!!**



危険箇所を把握していますか？

日頃の作業やほ場の中で、「ヒヤリ」とした経験はありませんか？
 危険を少しでも減らせるよう、**作業手順や環境を見直し**ましょう。

作業計画に無理はありませんか？

焦りや過労は事故に直結します。
複数人での作業を心がけ、**余裕をもった作業計画**を立てましょう。

服装や保護具は適切ですか？

作業に適した服装や保護具の着用が、事故やケガからあなたを守ります。
 面倒だからと安易に省略せず、**きちんと着用**しましょう。

作業前に点検・整備をしましたか？

使用前後の点検・整備は安全の基本です。
 点検・整備時に発生する事故に気をつけて、**適切に行い**ましょう。

機械等の使用方法は正しいですか？

使い慣れていても、取扱説明書どおりに使用することが大切です。
機種によっては免許や研修の受講等が必要ですので、確認しましょう。

緊急連絡先を知っていますか？

万が一の事故の時には、**すばやい連絡**が命を救います。
 緊急連絡先を整理し、**携帯電話は必ず身につける**ようにしましょう。

労災保険等に加入していますか？

万が一の時に経営を維持し、従業員や家族の生活を守るために、
労災保険や任意保険に加入しましょう。